

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月1日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

当社グループの事業セグメント

エレクトロニクス事業 (エレキ事業)

プリント基板(PCB)用部材を始めとする
電子部品用化学品部材の開発・製造販売
及び仕入販売



医療・医薬品事業 (医薬事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託、
歯科技工物の製造販売



ICT&S事業

ICT事業、ファインケミカル事業、
エネルギー事業及び食糧事業等



2026年3月期 第1四半期 トピックス

エレクトロニクス事業

- 売上高は、前年同期比で4%増加
〈要因〉円高推移の一方で、リジッド基板・PKG基板用部材の販売数量が増加
 - リジッド基板用部材
 - + 車載関連、スマートフォン関連部材を中心に販売数量増加
 - ディスプレイ関連部材(白色DF)の販売数量減少
 - PKG基板用部材
 - + メモリ向け製品を中心に、関税政策による前倒し効果を含む需要の高まりがみられ、販売数量が増加
 - 為替影響
 - 11.3円の円高に推移したことにより業績にマイナスの影響
期中平均為替レート: 当期1米ドル 145.2円
前年同期1米ドル 156.5円
- 「車載半導体PKG向けのDFタイプSR」第21回 JPCA賞(アワード)を受賞

医薬事業

- 売上高は、前年同期比で14%増加
〈要因〉製造受託事業において、顧客からの受託数量が増加
 - 製造受託事業
 - + 既存顧客からの受託数量増加
 - + 新規委託元からの受託製造の本格化により受託数量が増加
 - 製造販売事業
 - + 他社同効薬の供給不足に伴う需要の増加や鎮咳薬の供給量増加に伴う販売数量増加
 - 2024年10月開始の選定療養制度における対象品目の販売数量減少

全社

- 2026年3月期の業績予想修正
エレクトロニクス事業の業績上振れとコーポレートアクション費用の発生を考慮して修正
- 代表取締役社長の異動と取締役構成の変更
- 2030 Committeeの設置及び進捗

連結業績

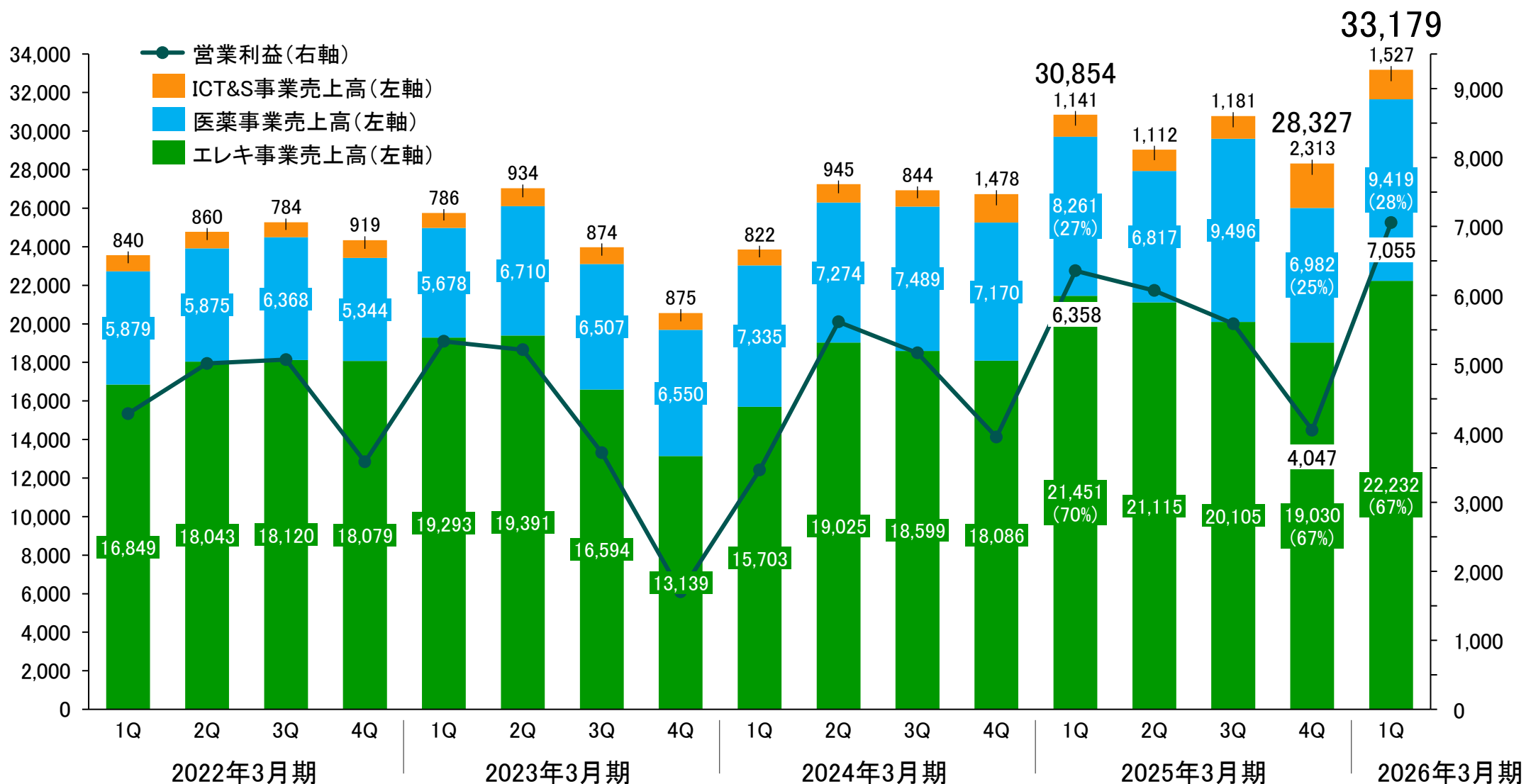
	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
単位: 百万円	2025年3月期 1Q 実績	2026年3月期 1Q 実績	前年 同期比	増減率	2026年3月期 上半期 業績予想 (4月30日発表)	進捗率	2026年3月期 通期 業績予想 (4月30日発表)	進捗率
売上高	30,854	33,179	2,325	8%	62,500	53%	123,400	27%
営業利益	6,358	7,055	696	11%	11,800	60%	23,300	30%
経常利益	6,183	6,657	473	8%	11,500	58%	22,500	30%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,605	4,636	31	1%	8,500	55%	16,000	29%
円・USDレート	156.5	145.2	△11.3		145.0		145.0	
EBITDA	8,589	9,176	586	7%	16,000	57%	31,900	29%
営業利益率	21%	21%			19%		19%	
EBITDA マージン	28%	28%			26%		26%	

セグメント別業績(売上高・営業利益・EBITDA)

		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③	④	②÷④
単位:百万円		2025年 3月期 1Q 実績	2026年 3月期 1Q 実績	前年 同期比	増減率	2026年 3月期 上半期 業績予想 (4月30日発表)	進捗率	2026年 3月期 通期 業績予想 (4月30日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	21,451	22,232	781	4%	40,900	54%	81,500	27%
	営業利益	6,088	6,201	113	2%	10,100	61%	20,100	31%
	営業利益率	28%	28%			25%		25%	
	EBITDA	6,917	7,096	179	3%	11,800	60%	23,800	30%
	EBITDAマージン	32%	32%			29%		29%	
医薬 事業	売上高	8,261	9,419	1,157	14%	18,500	51%	35,400	27%
	営業利益	579	1,378	799	138%	2,700	51%	4,600	30%
	営業利益率	7%	15%			15%		13%	
	EBITDA	1,751	2,356	604	35%	4,600	51%	8,600	27%
	EBITDAマージン	21%	25%			25%		24%	
ICT&S 事業	売上高	1,141	1,527	386	34%	-	-	-	-
	営業利益	69	△32	△101	△147%	-	-	-	-
	営業利益率	6%	△2%			-	-	-	-
全社費用	営業損益	△378	△492	△114		-	-	-	-

四半期別推移(売上高・営業利益)

単位: 百万円



BSの概況

BS前期比較

単位: 百万円

	25/3末	25/6末	増減		25/3末	25/6末	増減
現金及び預金	44,903	36,540	△8,363	支払手形及び買掛金	8,505	9,395	890
売上債権* ¹	27,896	33,357	5,460	短期借入金* ³	17,634	15,537	△2,096
棚卸資産* ²	21,345	20,942	△403	長期借入金	46,888	46,624	△264
上記以外	3,862	2,961	△900	上記以外	16,015	16,088	72
流動資産合計	98,008	93,801	△4,206	負債合計	89,043	87,645	△1,398
有形固定資産	67,638	67,251	△386	株主資本	94,011	90,240	△3,771
無形固定資産	16,341	15,900	△440	その他の包括利益 累計額	8,962	9,722	760
投資その他の資産	10,034	10,658	624	非支配株主持分	4	4	△0
固定資産合計	94,014	93,811	△203	純資産合計	102,978	99,967	△3,011
資産合計	192,022	187,612	△4,409	負債純資産合計	192,022	187,612	△4,409
				自己資本比率	53.6%	53.3%	△0.3%

*1 売上債権: 受取手形+売掛金+契約資産

*2 棚卸資産: 商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

*3 短期借入金: 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

2026年3月期 上半期業績予想修正

- ✓ 上半期業績予想を修正しました。修正の理由は以下の通りです。
- ・ エレキ事業の業績が2025年4月30日開示の業績予想を上回る見込みとなったこと。
 - ・ コーポレートアクション費用^{*1}の発生が第2四半期も見込まれること。

単位: 百万円		2026年3月期 上半期業績予想 (4月30日発表) ^{*2}		2026年3月期 上半期業績予想 (8月1日発表) ^{*3}		増減比	
		金額	利益率	金額	利益率	金額	率
連結	売上高	62,500		64,800		+2,300	+4%
	営業利益	11,800	19%	13,200	20%	+1,400	+12%
	経常利益	11,500	18%	12,700	20%	+1,200	+10%
	親会社株主に帰属する当期純利益	8,500	14%	8,900	14%	+400	+5%
	EBITDA	16,000	26%	17,400	27%	+1,400	+9%
エレキ 事業	売上高	40,900		43,200		+2,300	+6%
	営業利益	10,100	25%	11,500	27%	+1,400	+14%
	EBITDA	11,800	29%	13,200	31%	+1,400	+12%
医薬 事業	売上高	18,500		18,500		—	—
	営業利益	2,700	15%	2,700	15%	—	—
	EBITDA	4,600	25%	4,600	25%	—	—

*1 第1四半期に特別損失として計上した、第79回定時株主総会における議案検討や各種提案検討に関連するアドバイザリー費用等

*2 円・USDレート: 145.0円

*3 第2四半期の業績予想は2025年4月30日に開示した業績予想を据え置き、エレキ事業の第1四半期業績予想を実績値に更新し連結業績予想を修正
円・USDレート: 第1四半期 145.2円、第2四半期 145.0円

2026年3月期 通期業績予想修正

- ✓ 通期業績予想を修正しました。修正の理由は以下の通りです。
- ・ エレキ事業の業績が2025年4月30日開示の業績予想を上回る見込みとなったこと。
 - ・ コーポレートアクション費用*1の発生が第2四半期以降も見込まれること。

単位: 百万円		2026年3月期 通期業績予想 (4月30日発表)*2		2026年3月期 通期業績予想 (8月1日発表)*3		増減比	
		金額	利益率	金額	利益率	金額	率
連結	売上高	123,400		125,700		+2,300	+2%
	営業利益	23,300	19%	24,700	20%	+1,400	+6%
	経常利益	22,500	18%	23,700	19%	+1,200	+5%
	親会社株主に帰属する当期純利益	16,000	13%	16,000	13%	－	－
	EBITDA	31,900	26%	33,300	26%	+1,400	+4%
エレキ 事業	売上高	81,500		83,800		+2,300	+3%
	営業利益	20,100	25%	21,500	26%	+1,400	+7%
	EBITDA	23,800	29%	25,200	30%	+1,400	+6%
医薬 事業	売上高	35,400		35,400		－	－
	営業利益	4,600	13%	4,600	13%	－	－
	EBITDA	8,600	24%	8,600	24%	－	－

*1 第1四半期に特別損失として計上した、第79回定時株主総会における議案検討や各種提案検討に関連するアドバイザリー費用等

*2 円・USDレート: 145.0円

*3 第2四半期以降の業績予想は2025年4月30日に開示した業績予想を据え置き、エレキ事業の第1四半期業績予想を実績値に更新し連結業績予想を修正
円・USDレート: 第1四半期 145.2円、第2～第4四半期 145.0円

代表取締役社長の異動と取締役構成の変更

- ✓ 2025年6月21日開催の取締役会において、代表取締役社長の異動について決議されました。
また、当社の取締役会は独立社外取締役の比率が過半数を超える構成となりました。



齋藤 斉
代表取締役社長



土屋 恵子
独立社外取締役



丸山 みさえ
独立社外取締役



嶋村 紀明
取締役
(監査等委員)



杉浦 秀徳
独立社外取締役
(監査等委員)



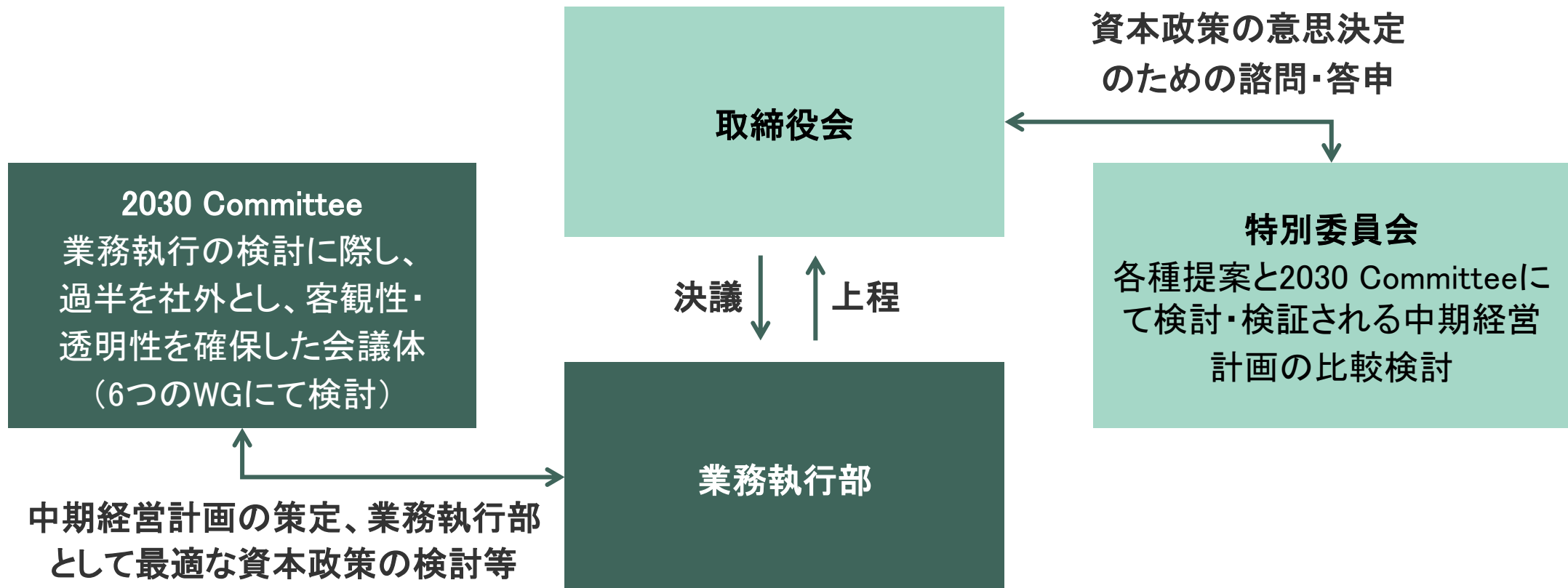
佐藤 郁美
独立社外取締役
(監査等委員)

○ : 独立社外取締役(6名中4名)

2030 Committeeの設置

- ✓ 中期経営計画策定を含め、2030年の長期経営構想実現に向けた経営課題の精査・取り組みにあたって、客観性・透明性が確保されたプロセスの実現及び、外部専門家の知見が活用できる2030 Committeeを特別委員会とは別に2025年6月に設置しました。

■ 2030 Committeeの設置を踏まえた、当社の検討体制



詳細は2025年8月1日開示資料「2030 Committee中間報告」をご確認ください。

2030 Committeeの進捗

- ✓ 6つのワーキンググループ(WG)を設置。①基盤強化WG、②成長戦略・事業PF WG、④ガバナンスWG、⑤株主・投資家対応WGを中心に検討。中期経営計画に関する事項については8月末の報告を予定。

1

基盤強化WG

対象 会社の継続的な成長を支える基盤である自律型人材育成やDX等のあり方

進捗 「自律型人材」育成の仕組みや環境を把握し、これまでの活動及び今後の注力施策を検討

2

成長戦略・事業ポートフォリオWG

対象 成長戦略とあるべき事業ポートフォリオ

進捗 エレキ事業の事業環境、医薬事業の製造販売事業と製造受託事業の戦略、各事業の定量面を把握し議論を開始

3

キャピタルアロケーションWG

対象 成長戦略・事業ポートフォリオWGや株主還元方針を踏まえた、最適資本配分

進捗 ②の後に検討予定

4

ガバナンスWG

対象 より強く信任をいただけるコーポレートガバナンス体制の構築のための施策

進捗 ガバナンスの体制整備、サクセッションプランの実効性を高める取組みの検討を実施

5

株主・投資家対応WG

対象 株主・投資家との対話方法や開示内容

進捗 これまでの株主・投資家との対話の状況を確認し、更に対話を強化できる施策の検討を実施

6

資本政策WG

対象 Beyond Imagination 2030の達成を通じた当社の企業価値向上及び株主共同の利益の確保を目指すうえでの、資本政策

進捗 ②の後に検討予定

詳細は2025年8月1日開示資料「2030 Committee中間報告」をご確認ください。

エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業 用語説明

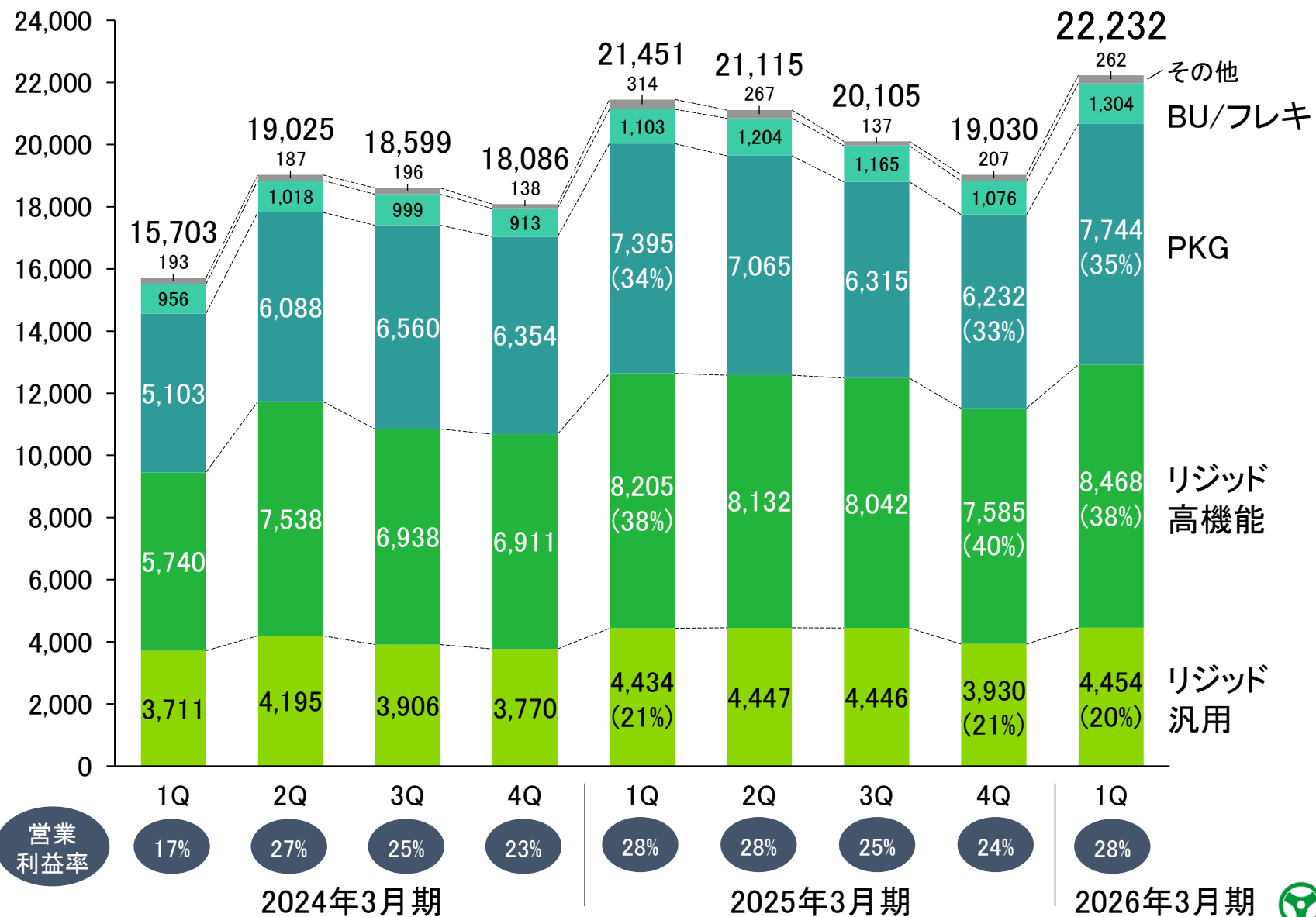
用語	内容
PCB (Printed Circuit Board)	プリント基板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト(レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム
BU (Build-up)	ビルドアップ

エレクトロニクス事業 製品分類

分野	分類		性状	用途
PCB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用SR材料 マーキング・エッチング・めっき用材料 電子機器用材料 等
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	BU		液状／DF	層間絶縁・穴埋め用ビルドアップ材料 等
その他 関連商材	その他		液状／DF	導電性ペースト 等

エレクトロニクス事業 製品別売上高

単位: 百万円



前年同期比 前四半期比
累計

+200 (+18%) +228 (+21%)

+349 (+5%) +1,512 (+24%)

+262 (+3%) +882 (+12%)

+20 (+0%) +524 (+13%)

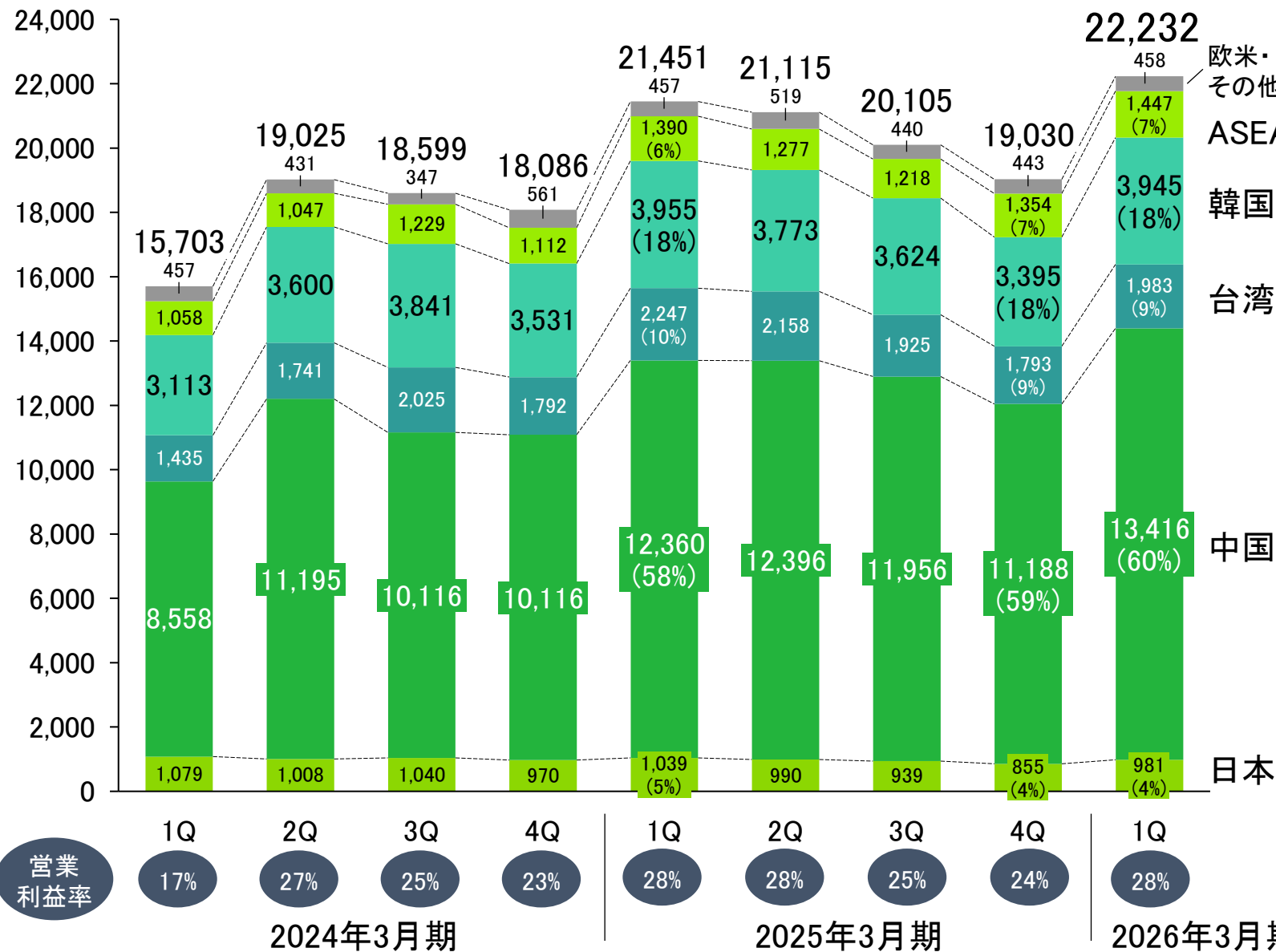
2024年3月期

2025年3月期

2026年3月期

エレクトロニクス事業 販売地域別売上高

単位: 百万円



前年同期比 前四半期比
累計

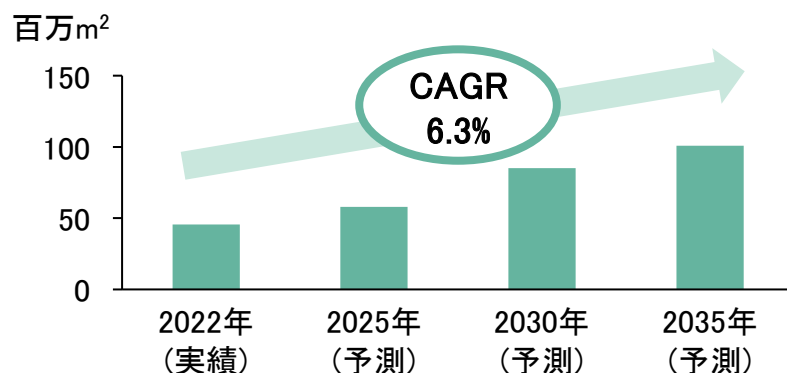
前年同期比 累計	前四半期比 累計
+57 (+4%)	+93 (+7%)
△10 (△0%)	+549 (+16%)
△264 (△12%)	+189 (+11%)
+1,055 (+9%)	+2,228 (+20%)
△57 (△6%)	+125 (+15%)

第21回 JPCA賞(アワード)を受賞

- ✓ 太陽インキ製造は一般社団法人日本電子回路工業会より第21回JPCA賞(アワード)を受賞しました。今回で6年連続の受賞です。

車載用プリント基板の市場

- 自動車の電子化の進展により、拡大傾向*1



- 自動運転やADAS*2等の発展に伴い、車載半導体向けパッケージ基板用SRの重要性が増加

【要求特性】

- 極度な温度変化など、過酷な環境下における高い耐久性
- 電子部品の集積が進む中で、高速・高精度なデータ処理を支える高い絶縁信頼性

当社の開発製品

「車載半導体パッケージ向け
高信頼性ドライフィルムタイプ
ソルダーレジスト」



【製品の特徴】

- 車載半導体向けパッケージ基板用SRに要求される、高い耐久性及び絶縁信頼性を発揮
- AEC-Q100 Grade0*3の品質基準に対応

*1 出典: 富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査2024」

*2 Advanced Driver Assistance Systems: 先進運転支援システム

*3 AEC-Q100: Automotive Electronics Council (AEC) の定めた車載用電子部品の品質基準。当該受賞製品は、その中で最も厳しい条件である「Grade0」に対応している。

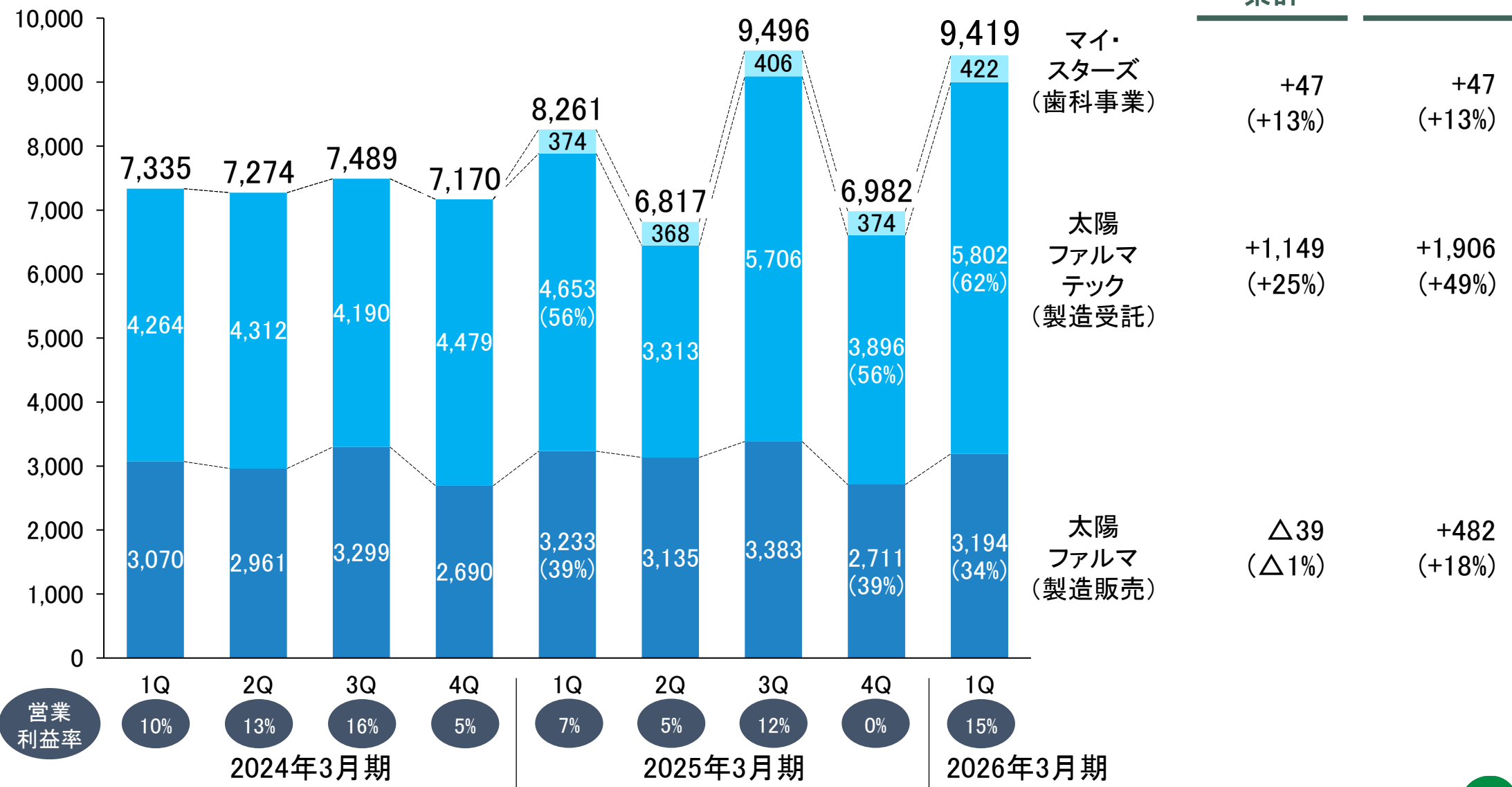
医療・医薬品事業

医療・医薬品事業 用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

医療・医薬品事業 会社別売上高

単位: 百万円





全社

MSCI ESG レーティング「A」評価獲得

- ✓ 太陽ホールディングスは、MSCIが発行するMSCI ESGレーティング*において、「A」評価を獲得しました。当社の環境及びコーポレート・ガバナンスをはじめとしたサステナビリティに関する取り組みが評価されました。

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

太陽ホールディングスによるMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社（以下「MSCI」）のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIによる太陽ホールディングスの後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータは、MSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」で提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

重点取り組み事項

E

環境

- ・ サステナビリティ推進委員会設置による管理・監督体制の強化
- ・ 水上太陽光発電所の維持・増設

S

社会

- ・ 人的資本への投資の継続
- ・ 地域社会への貢献

G

ガバナンス

- ・ 監査等委員会設置会社への移行
- ・ 社外取締役による取締役議長への登用

*MSCI社が提供する、企業の環境・社会・ガバナンスに関する取り組みを調査・分析し、最上位評価「AAA」から最下位評価「CCC」の7段階で格付けしたもので、ESG投資の世界的な指標とされています。

eスポーツ大会「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025」協賛

- ✓ 太陽ホールディングスは、株式会社カプコンが主催するeスポーツ大会「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025」へ、昨シーズンに引き続きトップパートナーとして協賛しています。本大会への協賛は、今シーズンが5年目となります。



開催日程

2025年12月13日-14日

2026年1月31日

大会

ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025 プレイオフ

ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025 グランドファイナル

「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2025」公式Webサイト: <https://sf.esports.capcom.com/sfl>

